MICHAEL OSTERHOLM

Epidemiologist and COVID-19 Expert

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Behavior
- coronavirus
- Health
- Organisation
- pandemics
- Strategy
- Wellbeing

マイケルオスターホルム博士は、感染症研究および政策センターのディレクターです。

「世界がパンデミックに直面するだろうと10年半の間私たちに警告してきた感染症の専門家」としてCNNに称賛されたオスターホルム博士は、COVID-19の公衆衛生への影響に関する主要な人物になりました。現在の世界的なパンデミックにつながった自己満足の鋭い批評家は、私たちのシステム、個人および公衆衛生戦略の現在の不足、そして私たちの医療システムを動員する緊急の必要性を指摘します。

Michael Osterholm博士は、ベストセラーの本「Deadliest Enemy：Our War Against Killer Germs」でCOVID-19のようなパンデミックを予測しました。これは、今日の最も差し迫った感染症の冷たく先見性があり詳細な説明です。Deadliest Enemyで、オスターホルム博士は「致命的で目に見えない敵の圧倒的な軍隊」と戦う計画を提唱し、「避けられないものからは考えられない」ことを防ぐための9点計画を提示します。

Osterholm博士は現在：McKnight Presidential Endeded Chair of Public Health：Center for Infectious Disease Research and Policy（CIDRAP）：Distinguished Teaching Teacher of the Division of Public Health School of the Public Health：理工学部の技術リーダーシップ研究所、リージェンツ教授、そして最後にメディカルスクールの非常勤教授、すべてミネソタ大学。

2018年6月から2019年5月までの間に、マイケルオスターホルム博士は米国国務省を代表して健康安全保障担当科学特使を務めました。2008年には、パンデミックに関する世界経済フォーラムワーキンググループに任命されました。これに先立ち、2005年に、新たに設立されたバイオセキュリティの全国科学顧問委員会に任命され、2001年から2005年まで、バイオテロリズムと公衆衛生の準備に関する問題について、保健福祉省長官の特別顧問を務めました。それ以前は、ミネソタ州保健省で24年間さまざまな役職を歴任し、最後の15名は州疫学者であり、急性疾患疫学セクションの責任者でした。

バイオテロの専門家であるマイケルオスターホルム博士は、ニューヨークタイムズのベストセラー本「リビングテロス：来るべきバイオテロリストの大惨事を生き残るためにアメリカが知っておくべきこと」で、バイオテロ攻撃に対するアメリカの現在の準備状況についての鋭いレビューを提供しました。 21冊の本の章を含む、315を超える論文と要約の著者であるオスターホルム博士は、9つの疫学と感染症のジャーナルの理事を務め、ニューイングランドジャーナルオブメディシンのレビュアーです。彼は、世界保健機関、国立衛生研究所、米国疾病管理センター、米国疫学会および米国感染症学会の頻繁なコンサルタントであり：NIHおよび米国感染症学会から6つの主要な研究賞を受賞しています：CDC：